

投資的事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 芝原 平 (菅野 晴行)	内線	4 4 4 0 (4 4 5 5)
------	-----------------	---------------------	----------------------	----	------------------------

事業種目	海岸事業	事業名	事業区間	総事業費	8.0億円
		海岸侵食対策事業 鳥飼海岸	津名郡五色町鳥飼 浦	内用地補償費	-
所在地		事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度	
津名郡五色町鳥飼浦		平成16年度	平成16年度	平成22年度	
事業目的				事業内容	
侵食対策 ・当海岸は侵食傾向の強い海岸であり、特に近年海岸線の後退が著しい。このため、冬期風浪及び台風等の高波浪時には砂浜による消波効果が見込めず、越波が発生する状況にある。 ・背後には民家、事業所があるととも、淡路西海岸の幹線道路であり、当地区の重要な生活道路でもある主要地方道福良江井岩屋線も通っている。 ・このため、沖合いに離岸堤を設置することにより侵食を防止するとともに、背後への越波を防止し、背後地の保全を図る。				離岸堤 2基(400m)	
評価視点					
(1) 必要性 安全・安心		国土保全の必要性： 海岸の侵食（年間約1.5m）防止を図る。 当海岸の護岸沿いを通る主要地方道福良江井岩屋線は淡路西岸を縦貫し、当地区の重要な生活道路である。また、背後には多くの民家、事業所等があり、これらを越波被害から護ることにより、住民の生活の安全性が向上する。 想定防護区域 約4.3ha 想定防護人口 約20人			
地域の活性化		主要地方道福良江井岩屋線の交通安全確保により、地域の活性化が図られる。 地域の貴重な観光資源である五色浜を保全することにより、観光振興を通じ地域の活性化が図られる。			
その他		本事業箇所南側の海岸では、平成11～15年度に海岸侵食対策事業により整備を完了する予定であり、本事業箇所を整備することにより、地域の一体的な防護が図られる。 地元から早期整備の要望が強い。			
(2) 有効性・効率性 有効性		費用対効果 $B/C = 1.52$ 背後に民家、事業所があり、事業執行による効果は大きい。 道路への越波防止により安全な交通が確保される。			
効率性		事業の執行環境上の問題はない。			
(3) 環境適合性		県のレッドデータブックでBランク（自然景観）に位置付けられた五色浜が保全される。 * Aランク；規模的、質的にすぐれており、貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当するもの。 Bランク；Aランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県の価値に相当するもの。			
(4) 優先性		背後に民家、事業所があるととも越波が頻発しており、早急に対策を講じる必要がある。 主要地方道の通行の安全性を確保するため早急な対策が必要である。			